

# 風は未来を 5月号

「前向きに実践できる、みんなが元気な長野中」

## 嘘をつくと・・・

「あしたの遠足に行きたくない。中止しなければ自殺する」という手紙が岐阜県立東濃高校に届けられたのは、5月24日。届けたのは旅行会社の社員でした。学校はその日のうちに全校生徒の安否を確認、遠足の実施を決めました。

ところが当日の朝、旅行会社が手配する大型バス11台が用意できてないことが判明し、遠足は延期となりました。自殺の手紙は、バスの手配ミスをした社員が自分の責任を逃れるために生徒を装った真っ赤な偽物でした。



さて、この社員の悪いところはいったいどこなのでしょう？  
職業人として、バスの手配を忘れてしまったということはもちろんいけません、それより自分のミスを隠すため、「嘘」をついてしまったことです。それも、犯罪となりうる大きな大きな嘘でした。この社員は、自分のミスに気づいた時は、まず上司に報告し、謝罪をしなければなりません。自分の失敗を隠そうと嘘をついたために大きな事件となってしまいました。

さて、どうして嘘はついてはいけないのでしょうか？  
それは、**嘘はつかないほうが、確実によい人生を送れる**からです。「嘘も方便」ということわざがありますが、よほど相手のためになることでないかぎり、嘘はつかないよう心がけましょう。嘘は相手を不快にさせて、嫌な気持ちにさせてしまいます。そのうえ、あなたも嫌われることになり、信用も失うことになります。皆から好かれる人は、いつも正直で言うことに嘘はありません。安心してコミュニケーションがとれる人です。嘘をつけばいざこざなど取りあえずごまかすことができ、もつれが少なくなるような気がしますが、実際は逆です。**嘘をつけば、その嘘の取りつくろいでまた嘘をつかなければならない**ことになります。嘘が嘘を呼び、さらにまた嘘へと延々と続くことになります。嘘を言っている本人も、自分が何が嘘で、何が本当か分からなくなってしまうほどです。正直にまっすぐな心の人ほど、付き合い上のもつれは少なく、トラブルもありません。嘘はつけばつくほど、その人の心を汚してしまいます。



オオカミ少年

**嘘をつくほど心は汚くなり、正直になるほど心がきれいになるのです。**

## 行田探訪 さきたま火祭り

皆さんの故郷は行田です。普段は自分の故郷の素晴らしさを意識しないでしょう。私も行田に移り住んで行田の素晴らしさを実感しました。もしかすると、行田で生まれ育った人よりも「行田のよさ」を感じているかもしれません。これから折に触れて、知っていそうで知らなかった「行田のよさ」を紹介していきたいと思います。

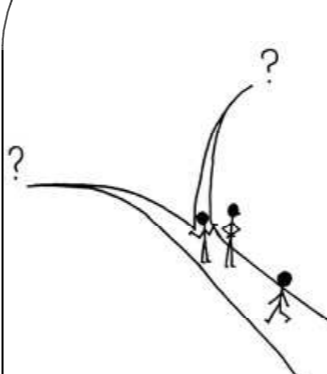
ここでは、毎年5月4日にさきたま古墳公園で開かれる「さきたま火祭り」を紹介します。さきたま火祭りは「火」をシンボルにしたお祭りで、昭和55年に、国宝「金錯銘鉄剣(きんさくめいてっけん)」がさきたま資料館に保存されることを記念して始まりました。古事記によれば、天照大御神(あまてらすおおみかみ)の孫の王子(ニギノミコト)が、王女(コノハサクヤヒメ)と結婚してすぐに戦に行きました。王子が戦から帰ってくると、男の子が2人生まれていました。



産屋を炎上させるニギノミコトとコノハサクヤヒメ

王子は自分がいない間に生まれた子どもを疑いました。王女は、疑いを晴らすため「神の子であるならば、たとえ火の中でも無事に生まれるでしょう」とワラでできた産屋(うぶや)に火を放ち、その中で海幸彦(ウミサチヒコ)と山幸彦(ヤマサチヒコ)を出産したということです。お祭りの見どころは午後6時から。王女を祭る浅間(せんげん)神社で採火された火を埼玉小学校児童が会場まで運ぶ「採火行列」。主役の2人を運ぶ「輦台(れんだい)行列」、古代住居を炎上させる「産屋(うぶや)炎上」。そして、稲荷山(いなりやま)古墳や丸墓山古墳からたいまつを持ち古代人に扮した地元の人たちが降りてくる「御神火降り(ごじんかくだり)」などで、古代ロマンへと導く幻想的なお祭りです。

### 頭の体操 「嘘つき村」と「正直村」の話 あなたはわかりますか？



右の道を行くと、1つの村があります。左の道を行くと、もう1つの村があります。

1つの村は「嘘つき村」で、もう1つの村は「正直村」です。嘘つき村の人はみんな嘘をつく。正直村の人は正しいことしか言いません。

わかれ道の入り口には嘘つき村から1人、正直村から1人、人が2人立っています。でも、どちらの村人かわかりません。

<ルールの確認>

- ・正直村の人は、正しいことしか言いません。
- ・嘘つき村の人は、絶対に嘘を言います。
- ・質問は1回だけ、2人の村人に同じ質問をします。
- ・質問は、村人が簡単に答えられるものに限ります。

問題です。正直村にたどり着くには、村人にどんな質問をしたらよいでしょうか？  
正解は、3年5組の人が知っています。特に真下(ましも)くんがくわしいです。  
ヒント：「右の道は正直村への道ですか？」と聞いても、正直村の人は「はい」。嘘つき村の人は「いいえ」と答え、どちらが正解かわかりませんね。